

4 歳児保育指導案

- 1 日時・場所 平成 30 年 11 月 8 日 (木) 9 時 00 分～11 時 30 分
中筋幼稚園 園庭・各保育室
- 2 対象児 4 歳児 すみれ組 23 名 (男児 14 名 女児 9 名)
4 歳児 さくら組 22 名 (男児 13 名 女児 9 名)
- 3 主な活動の内容 「秋の広場で遊ぼう」

4 幼児の姿

- 自ら選んだ活動の時間になると、友達を遊びに誘う姿や遊具を自ら選択し遊び始める姿が見られるようになってきた。5 歳児が始めた電車ごっこや自然物を使ったお弁当作りに興味を持ち、自ら関わりながら遊ぶ姿も見られる。一人遊びを楽しむ幼児や友達の様子を見て楽しむ幼児もいる。
- 運動会を経験し、自ら運動遊びに意欲をもって楽しむ姿が増えた。体操やダンスの音楽が流れると教師の振り付けを見て一緒に体を動かす姿や友達と考えたダンスを取り入れながら体を動かして遊ぶ姿も見られるようになってきた。音楽に合わせて楽器を鳴らし楽しむ幼児もいる。
- 2 学期に入り友達とパーティーごっこや電車ごっこをしたり、サッカーや弁当屋さんごっこで 5 歳児と一緒に遊んだりして関わる姿も見られるようになってきた。友達との関わりに難しさが感じられる幼児も、少しずつ友達を意識する姿が芽生えてきている。クラスで簡単なルールのある遊びも楽しめるようになってきた。その一方で、遊びの中で気持ちを伝え合うことができなかつたり、思いを言葉にできなかつたりするとトラブルになり、教師に助けを求めに来る姿も増えてきている。

5 指導にあたって

- 幼児が自分たちで遊びを選択したり、準備したりすることができるよう、幼児の思いに寄り添いながら材料や用具を整えていきたい。また、教師が遊びを紹介することでやりたい遊びの広がりや、遊ぶ楽しさが味わえるようにしていきたい。
- 友達と一緒に体を動かす遊びの楽しさに共感し、繰り返しやってみようとする気持ちがもてるようにしていきたい。また、教師も遊びの仲間となり遊び方を知らせ、その子なりに楽しむ姿を認めていきたい。
- トラブルが起きた時には、一人一人の思いを十分に受け止め、伝え方を一緒に考えたり言葉を添えたりしながら友達と関わる楽しさを味わえるようにしていきたい。

6 ねらい・内容

- 遊びの中で自分の思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
 - ・ 友達と関わり合いながら遊ぶことを楽しむ。
 - ・ 自分の好きな遊びを見つけて十分に遊び込む。
 - ・ 先生や友達と一緒にいろいろな表現を楽しむ。